



謹賀新年

新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、お健やかに新年をお迎えになったことと思います。

さて、昨年を振り返りますと、私自身、体調面で思うように動けない一年となっていました。特に七月末からは腹部の不調により二週間ほど入院することとなり、その後も体調が万全とは言えず、会の活動に十分参加できなかったことを、大変心苦しく思っております。現在も毎日車いすに乗れる状態ではなく、自宅療養に専念している状況です。

そのような中、十一月に綾瀬市民スポーツセンターで開催された「第十四回福祉レクリエーション大会」および「ボランティア連絡協議会との交流会」では、何とか午前中のレクリエーション大会に参加することができ、総会以来となる会員の皆さまのお元気なお姿にお目にかかれたことは、私にとって大きな励みとなりました。

新しい年は、体調の回復を第一に考えながら、一日も早く元氣を取り戻して、再び会の活動にしっかりと関わっていただけることを願っております。

第75号
令和8年1月15日
発行者
綾瀬市身体障害者
福祉協会



西川 和朗

令和八年度も、五月の総会をはじめ、秋には社会福祉協議会主催の「綾瀬市福祉ふれあい祭り」や「福祉レクリエーション大会&秋の交流会」が予定されています。さらに、十二月六日(日)には、神奈川県身体障害者連合会主催の「第七十一回神奈川県身体障害者福祉大会」が、綾瀬市がホスト市として、綾瀬市オーエンス文化会館で開催されます。綾瀬市での開催は平成二十六年以来、実に十二年ぶりとなる大変意義深い大会です。会員の皆さまには、ぜひ一丸となってこの大会を盛り上げていただきますよう、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

本年が皆さまにとって、健やかで明るい一年となりますことを心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶いたします。

☆「福祉レクリエーション大会」に参加して

肢体部会 西山 和夫

令和七年十一月八日(土)、秋晴れの空のもと、綾瀬市TIMURO GLASS市民スポーツセンターの体育館で、社会福祉協議会主催の「第十六回福祉レクリエーション大会」が開催されました。毎年恒例のこのイベント、今年も元氣いっぱいにスタートです！



私たち身体障害者福祉協会からは七名が参加予定でしたが、当日一名が欠席となり、最終的には六名での参加となりました。年々参加者が少しずつ減っているのは少し寂しいですが、斉藤さんや野口さんなど、毎年元氣に顔を見せてくれる仲間たちに出会って、心がほっこりしました。そして、西川会長も体調が万全ではない中、笑顔で参加してくださり、その姿にこちらが元氣をもらいました。



開会式では、鈴木社会福祉協議会会長のご挨拶に続き、来賓の橘川市長、市議会議員、県議会議員の皆さん

からも温かいお言葉をいただきました。その後、軽いストレッチで体をほぐして競技が始まりました。

なお、来賓ではありませんが、綾瀬市もホームタウンにしているサッカーJ3のSC相模原のマスコットのガミティがゲストとして応援に来てくれました。



今年の競技は「サイコロ競争」や「ループ輪投げ」など、昨年と同じ種目でしたが、参加人数が少なかつた分、二回、三回と出番が回ってきて、思わず汗だくに。でも、それもまた楽しい思い出です。

そして「楽しみ競争」では、ボランティアとして活躍してくれていた高校生たちも参加！スライディングで飛び込むような若さあふれるプレーに、会場は笑いの渦に包まれました。あの元氣、ちよつと分けて欲しいくらいでした。

お弁当をいただいた後は、ボランティアの皆さんとの交流会も予定されていましたが、私は所用があつて途中で退席。でも、次回はぜひ最後まで参加して、もっとたくさんの方とお話したいと思っています。

今回も、社会福祉協議会の皆さま、そして多くの高校生ボランティアの皆さんのおかげで、怪我もなく、笑顔いっぱい的一天を過ごすことができました。本当にありがとうございます。

また来年も、元氣にこの大会と交流会で皆さんとお会いできるのを、今から楽しみにしています！

☆「第七十回 神奈川県身体障害者福祉大会」報告

車いす部会 斉藤 正枝

令和七年十二月十四日（日）、伊勢原市民文化会館・大ホールにおいて「第七十回 神奈川県身体障害者福祉大会」が開催されました。当日はあいにくの雨模様で冷え込みの厳しい朝となりましたが、会場には県内各地から多くの仲間たちが集まりました。



午前十時三十分、定刻通りに式典が幕を開けました。まず、県身連の渡邊副会長による開会のことばに続き、物故者への黙祷が捧げられました。主催者挨拶では、神奈川県知事代理の首藤副知事、および県身連の内藤会長より、共生社会の実現に向けた力強いメッセージをいただきました。また、開催地である伊勢原市の萩原市長からは、心温まる歓迎の言葉を頂戴しました。

続く表彰式では、多年にわたり障害者福祉の向上に尽力された方々へ、知事表彰状および県身連会長表彰状・感謝状が贈呈されました。表彰者代表による感謝の言葉では、これまでの活動の歩みと支えてくれた方々への謝辞が述べられ、会場からは惜しめない拍手が送られました。式典後半、伊勢原市身体障害者福祉協会の早乙女会長による「大会宣

言」が高らかに行われ、参加者全員で決意を共有しました。

休憩を挟んで行われたアトラクションでは、創作和太鼓グループ「楽鼓（らっこ）」が登場。



迫力ある太鼓の音色と一糸乱れぬパフォーマンスは、雨の寒さを忘れさせるほど素晴らしく、会場全体が一体となって楽しいひとときを過ごしました。

プログラムの終盤、いよいよ次回の開催地が発表されました。来年の「第七十一回大会」は、私たちの地元である綾瀬市で令和八年十二月六日（日）に開催されることが決定いたしました。

次期開催地挨拶として、本来は西川会長が登壇する予定でしたが、体調不良により欠席されたため、金子副会長が代わって登壇し、次回のホスト役として「皆様を綾瀬でお迎えすることを楽しみにしています」と挨拶を行いました。

今回は七十回という節目にふさわしい充実した大会となり、来年の綾瀬市での大会の成功に向けて、会員一同さ



らに一丸となつて活動を盛り上げていく決意を新たにしました。

☆「映画館」のバリアフリー化

文化庁は、障害のある人も映画館を利用しやすくするため、バリアフリー改修を行った映画館を固定資産税などの軽減制度の対象に加える方向で検討を始めました。厚生労働省と連携し、令和八年度の税制改正要望に盛り込む方針です。

現在は劇場や音楽堂が対象で、

国交省の基準に適合すれば税が三分の一軽減されます。文化庁はこの制度に映画館を加える方針です。



改修内容には、車いす用鑑賞スペースやトイレの設置、通路幅の確保などが含まれ、自治体の確認を経て基準を満たせば軽減措置が適用されます。字幕付き上映や音声ガイドなどソフト面の対応も進む中、今回の措置でハード面の整備も促進され、誰もが安心して映画を楽しめる環境づくりが期待されています。

☆【参加者募集】障がいのある方のための「災害カフェ」

「災害が起きたときの備えてどうしてる?」自助するため、必要な「もの」「こと」について、話し合いましよう。

・日時：令和八年一月二十日（火）
十時十五分～十二時十五分

・会場：綾瀬市保健福祉プラザ

多目的室

・対象：市内在住の障がいのある方、またはその家族

・定員：三十名（先着順）

・主催：あやとも協議会 災害部会
・お問合せ：申込先

綾瀬市障がい児者相談支援センター

FAx：0467-531-9899

電話：0467-771-1118

☆綾瀬市身体障害者福祉協会「新年度の役員体制」お知らせ

巻頭でもお伝えいたしました通り、私自身の体調が万全ではないことから、このまま会長職を全うすることは難しいと判断いたしました。つきましては、令和八年度の役員体制を以下の通りいたしました。存じます。

- 会長 金子 寿
- 副会長 高寄 邦雄
- 副会長 西山 和夫
- 会計 前田 敦子
- 監事 宮島 永子
- 監事 坂本 道子
- 部長 佐原 大樹
- 理事 阿部 養之進
- 顧問 西川 和朗



今後は顧問として、引き続き会の活動を支えてまいる所存です。新体制への移行につきまして、皆さまのご理解と温かいご協力を心よりお願い申し上げます。

西川 和朗